

## 【発表メモの訳】

アラン・マティソン・チューリング

— 30 —

## 若年期

- ロンドンのメイダ・ヴェイルに生まれる
- 31
- 32

## 主要な出来事の時系列

33

34

チューリングはプリンストン大学で学んだ後、イギリスに帰国した。

35

36

第二次世界大戦が1945年に終戦した。

## 第二次世界大戦後

- チューリングはNPLに採用され、37に従事した。

## 晩年と遺産

- チューリングはロンドン王立協会の特別研究員に選出された。
- チューリングは自殺したと考えられている。
- 38

## 【語句・表現】

〈第1段落〉

- ・ essential 「不可欠な、必須の」
- ・ origin 「起源」
- ・ contribution to ~ 「～に対する貢献」
- ・ explore 「～を探索する、開拓する」

〈第2段落〉

- ・ bright 「頭の良い」
- ・ pursue 「～を追求する」
- ・ enroll in ~ 「～に入学する、入会する」
- ・ fellow 「特別研究員」

〈第3段落〉

- ・ abstract 「抽象的な」

〈第4段落〉

- ・ break out 「(戦争などが) 始まる」
- ・ be engaged in ~ 「～に従事する」
- ・ code 「暗号」
- ・ cypher 「暗号」
- ・ military 「軍隊」

- ・ radio communication 「無線通信」

〈第5段落〉

- ・ secure 「確固たる」
- ・ defeat 「～を負かす」
- ・ figure out ~ 「～を解明する」
- ・ procedure 「手順、順序」

〈第6段落〉

- ・ dedicate A to B 「AをBに捧げる」
- ・ expertise 「専門的知識」
- ・ the Allies 「(第二次世界大戦時の) 連合国」

〈第7段落〉

- ・ recruit 「～を採用する」

〈第8段落〉

- ・ artificial intelligence 「人工知能」

〈第9段落〉

- ・ convict 「～に有罪判決を下す」
- ・ gross indecency 「重大なわいせつ行為」
- ・ homosexuality 「同性愛」
- ・ commit suicide 「自殺する」
- ・ attribute A to B 「AをBのせいにする」

〈第10段落〉

- ・ on behalf of ~ 「～の代表として」
- ・ utterly 「まったく、完全に」
- ・ grant 「～を授与する、認める」
- ・ pardon 「恩赦」

## 第6問

## 【出題のねらい】

説明文を読み、必要な情報を読み取ってまとめ直す力をみる。

## A

問1 「39」に最も適するものを選び

- ① 人々に路上喫煙をやめさせる
- ② 喫煙者に吸い殻を適切に捨てさせる
- ③ 吸い殻が環境にどう悪影響を及ぼすか人々に気付かせる
- ④ 公共スペースの灰皿を減らす

正解 ⇒ ②

記事の全体として述べられているパロット・ビンの仕組みを踏まれば解答できるが、特に第2段落の第4文より、吸い殻を路上に捨てる不適切な習慣をやめさせ、きちんとパロット・ビンという吸い殻入れに捨てさせることが目的といっている。よって②が適当である。

問2 「40」に最も適するものを選び

- ① それは多くの人々が関心を持つであろう種類の質問である
- ② それは政治的な質問の方がより関心を集めるだろうことを示唆している
- ③ 多くの読者が真剣にその投票の結果を知りたがる
- ④ 喫煙者はとりわけサッカーの話題が好きである

正解 ⇒ ①

第4段落に「ロウドとメン、どちらが世界最高のサッカー選手か」という質問が述べられている。これは最初のパロット・ビンで使用された質問の一つであることが分かるが、該当の質問の直後に which especially attracted people's attention と述べられている。よって人々の関心をよく集めた質問の例であるから①が適当である。

②はスポーツの話題の方がより関心を集めたという内容なので不適。③は仮に記事の読者が結果を知りたがると考えたのであれば投票結果を明らかにしないのが不自然である。

問3 「41」に最も適するものを選び

- ① オンラインの投票システムを導入した
- ② 海外へ進出する困難に直面している
- ③ 様々な組織から注文を受けている
- ④ 世界の吸い殻を半減させた

正解 ⇒ ③

最終段落で、パロット・ビンはその成功から得られた需要のため、オンライン販売されるようになったと述べられ、「購入者には、市議会、政府、ブランド、レジャー施設、グローバル企業などが含まれる」と書かれている。よって③が適当である。

①はパロット・ビン自体のオンライン販売が始まったという意味であり、投票システムではないので不適当。②は最後にパロット・ビンを世界中で目にするようになるだろうと述べられ、順調に海外に広がっていることが分かるため不適当。

問4 「あなたのボランティアクラブは学校の図書館のために図書寄付キャンペーンを実施し、生徒から本を集めようとしている。」

「42」に最も適するものを選び

- ① 寄付された本が図書館でどのように使用されるか生徒に説明する
- ② 生徒の間で人気があると分かった本の寄贈者に賞品を与える
- ③ ある質問への回答がそれぞれ貼られた2つの寄付ボックスに生徒が本を入れるようにさせる
- ④ キャンペーン期間にわたって合計何冊の本が寄付されたかを生徒に示す

正解 ⇒ ③

記事で述べられている内容を、ボランティアクラブの活動に活かすとしたら何をすべきかが問われている。したがって、パロット・ビンというシステムの利点を図書寄付というキャンペーンに応用する方法を考える。パロット・ビンは、注目を集める質問への投票を行わせることで、吸い殻を灰皿に捨てるという行為に楽しさをもたせることがポイントである。これを本の寄付に応用する方法として最も適当なのは、投票の仕組みを組み込んで寄付を推進する③である。

①の用途の説明や②の賞品の贈呈についてはバロット・ピンの仕組みと無関係である。④の寄付された冊数を示すことは、吸い殻の量を見えるようにするバロット・ピンの仕組みと似ているが、バロット・ピンは合計ではなく内訳を表示することで競争を促進するものであるから不適である。

### 【全訳】

あなたは学校でボランティアクラブに所属しています。人々を活動に参加させる方法についてヒントを得るために、以下の雑誌記事を読みました。他のクラブメンバーに情報を共有するための要約メモを作成しています。

公衆灰皿の効果について  
マイク・ピーターソン  
2019年2月11日



吸い殻は世界で最もよく見られるゴミの一つで、毎年4兆5千億本が捨てられていると推定されている。また、魚やクジラなど海の生き物の胃袋から発見されることも多く、海洋ゴミの大きな原因となっている。タバコのフィルターは、分解するのに10年以上かかるプラスチックでできている。また、吸い殻は有害な化学物質を土壌や水中に放出する可能性がある。さらに、小さな子どもが誤って食べてしまう危険もある。

この問題に取り組む革新的な方法の一つに、特殊な灰皿の導入がある。2015年、タバコの吸い殻のポイ捨て問題に取り組むため、イギリスの環境慈善団体 Hubbub Foundation がロンドンの路上に初めて設置したのがバロット・ピン（投票用灰皿）である。イギリスの地方自治体協会によると、タバコの吸い殻はゴミ全体の3分の1を占め、街の中心部の通りの99%で見られる。バロット・ピンは、路上清掃のキャンペーンで初めて採用され、楽しく競争的な質問に投票することで、喫煙者が吸い殻を路上に捨てる習慣をなくすことに成功した。バロット・ピンは、吸い殻のポイ捨てを大幅に削減することが実証されている。

バロット・ピンは、イベントに参加する楽しさを利用している。例えば、「ゴミ問題に対して、政府はもっと取り組むべきか？」といった質問が書かれている。バロット・

ピンには、2つの投票するための口があり、その上に「YES」「NO」などの回答が書かれている。喫煙者は、2つの口のうち1つを選ぶ。タバコの吸い殻を自分の好きな答えの下にあるスロットに投げ入れることで投票したり、質問に答えたりする。どちらの投入口も、下に透明なガラス窓があり、積み上げられた吸い殻が見えるようになっている。吸い殻が多い方が、その意見に賛成する人が多いということになる。一種の世論調査と言えるかもしれない。

Hubbub は、最初のバロット・ピンを6週間、路上に設置した。そのバロット・ピンは、よく大衆を惹きつけるものであるスポーツの試合やライバル関係について毎週質問するものであった。その質問の中でも特に、「ロナウドとメッシ、どちらが世界最高のサッカー選手か」という質問は、人々の関心を集めた。吸い殻がかなり少なくなった通りを Hubbub が目にするのに、そう時間はかからなかった。

この試みにより、バロット・ピンは世界中に広く知られるようになり、多くの人気ソーシャルメディアアカウントがこの試みを取り上げるようになった。この吸い殻を減らす新しい試みが成功したことが証明されると、他の地域もそれに倣うようになった。イギリスの沿岸都市であるサウスエンドは、2017年に21個のバロット・ピンを設置した。サウスエンドの議会は、すべての場所で12週間の評価を実施し、タバコのポイ捨てが46%減少したと報告した。アメリカでは、環境慈善団体 Keep America Beautiful が、3か所で16個のバロット・ピンをテストした。6か月間、タバコのポイ捨てに対するバロット・ピンの影響を測定したところ、交通量の多い通りではタバコのポイ捨てが70%以上減少したことが判明した。

「バロット・ピン」の需要はますます高まっている。これに応え、インターネットでの販売が開始されている。購入者には、市議会、政府、ブランド、レジャー施設、グローバル企業などが含まれる。近い将来、世界中でバロット・ピンを見かけることになるだろう。

### 【要約メモの訳】

#### 公衆灰皿の効果について

バロット・ピンとは？

- [39] という目的で設置された新しい灰皿。

質問の例：

「ロナウドとメッシ、どちらが世界最高のサッカー選手か」

- 筆者は [40] ためこの質問に言及したと考えられる。

詳細

- イギリスの環境慈善団体 Hubbub がこのプログラムを始めた。

- サウスエンドが続き、46パーセントの吸い殻を減らした。

- Keep America Beautiful によって交通量の多い通りで70パーセントの吸い殻が削減されたことが分かった。

運動

- バロット・ピンはその人気の高まりにより、[41]。

→ 私たちの図書寄付キャンペーンのために、私たちは生徒からできるだけ多くの本を集めたい。この記事から学んだことに基づき、できることは [42] ことだ。

### 【語句・表現】

・ clue 「ヒント」  
・ ashtray 「灰皿」

〈第1段落〉

・ cigarette butt 「タバコの吸い殻」  
・ litter 「ゴミ」  
・ trillion 「1兆」

・ break down 「分解される」  
・ harmful 「有害な」

〈第2段落〉

・ innovative 「革新的な」  
・ ballot 「投票」  
・ bin 「ゴミ入れ」  
・ charity 「慈善団体」  
・ divert A from B 「A を B から離れさせる」

・ routine 「習慣」  
・ competitive 「競争的な」  
〈第3段落〉  
・ take advantage of ～ 「～を利用する」  
・ slot 「投入口」  
・ pile up 「積み重なる」  
・ opinion poll 「世論調査」  
〈第4段落〉  
・ rivalry 「ライバル関係」  
〈第5段落〉  
・ trial 「試行」  
・ cover 「～について報じる」  
・ follow suit 「先例に倣う」  
・ coastal 「沿岸の」  
・ site 「場所、用地」  
〈第6段落〉  
・ demand 「需要」  
・ council 「議会」

## B

問1 「あなたのグループは最初のポスターの出しの下にあるマークについて紹介したいと思っている。43に最も適するものを選び」

- ① その違反に対して行政が直ちに対処することを認める
- ② 所有者が芸術作品や発明品を作り出すことを認める
- ③ 知的財産を使用する消費者を保護する
- ④ 触れたり感じたりできない財産の所有者を保護する

正解 ⇒ ④

並べて表示されているマークについては、第1段落において、知的財産権に関するものであることが述べられており、また続けて知的財産権は人間の知性による無形の創造物を保護するものでも説明されている。これらを合わせることで④が適当であると分かる。

問2 「あなたはTypes of marksの表を埋めることを求められた。44と45に入る最も適当なものを選び」

TMの説明 44

- ① TMマークをもつ製品は触れたり感じたりできない。
- ② TMマークをもつ製品は有形かもしれないし無形かもしれない。
- ③ TMマークは登録商標であるとは限らないが、それが商標であることを示す。
- ④ TMマークはその商標の登録手続きが完了していることを示す。

正解 ⇒ ③

第4段落でTMマークについて説明されている。第2文より、TMマークは登録されているかに関わらず、単に商標をもつことを示すものであると述べられているので③が適当である。第5段落の記述も合わせると、TMマークは有形の製品の商標に対して用いられ、SMマークは無形のサービスの商標に対して用いられるものであることが分かるので、①、②は誤りである。

SM, ©を付すもの 45

- ① SM：登録商標および未登録商標  
©：登録商標および未登録商標
- ② SM：登録商標および未登録商標  
©：企業と個人
- ③ SM：登録商標  
©：登録商標および未登録商標
- ④ SM：登録商標  
©：企業と個人

正解 ⇒ ②

SMマークについては第5段落の最終文より、TMマークと同じく、登録済みのものに限らず商標に付けられることが分かる。©マークについては第6段落の第1文、the company or person to which it is attached「それが付けられた企業や人」より、商標に付される®、TM、SMとは異なり、企業または個人に付されるものであることが分かる。よって②が適当である。

問3 「あなたは共通の特徴をもついくつかのマークについて発表する。記事に即して適当な2つは次のうちどれか(順不同) 46

- ① ®と日本GIはいずれも日本でのみ使用される。
- ② ®とTMはいずれも無形のサービスについて使用することができる。
- ③ ©、PDO、PGIは全て登録された製品であることを示す。
- ④ ©、TM、SMは全て登録なしで付けることができる。
- ⑤ PDO、PGI、日本GIは全て農作物の産地に関係する。
- ⑥ 行政はTMとSMどちらの侵害に対しても措置をとる。

正解 ⇒ ④・⑤

④については、第6段落第3文に著作権は手続きなしに創作と同時に生じるとあり、第4段落第2文、第5段落最終文より、TM、SMも必ずしも登録がなくても付けられると述べられていることから適当である。

⑤については、第7段落第2文でPDO、PGI

は農作物の産地名を使用する権利を保護するものであると述べられており、また同段落の最後から2文目で日本がEUに就いて「地理的表示制度」を導入し、日本GIマークを作ったことが分かるため適当である。

①は第3段落第2文より日本以外にも多くの国で®は使用されていることが分かり誤り。②は第5段落よりTMは有形の製品に関して使用されることが分かり誤り。③は④の解説で述べたように©は登録不要なので誤り。⑥は第8段落より、行政が措置を講じるのはTM、SMなどの商標ではなく地理的表示の方であり誤り。

## 【全訳】

あなたはグループの一人として、「知的財産権の世界」と題した英語のプレゼンテーションコンテストのポスターを作成しています。ポスターを作成するために以下の文章を使用しています。

製品やサービスの名称に下の記号のようなマークが付いているのを見たことがあるのではないだろうか。これらの記号は知的財産権に関係するもので、それぞれに意味がある。知的財産権とは、芸術作品や発明品、商標など、人間の知性による無形の創造物を保護するものである。有形資産とは触れたり感じたりすることができるものを含む一方、無形の創造物とは触れたり感じたりすることができないものことだ。

図1 様々なマーク

®	TM	SM	©		
登録商標	商標	サービスマーク	著作権表示	PDO/PGI	日本GI

まず、®、TM、SMはいずれも商標に関するものである。商標とは、事業者が自社の製品やサービスを他社のものと区別するために使用するマークである。商標権を取得するためには、通常、商標登録をする必要がある。

Rマーク(®)は、このマークが付いているロゴや文字が登録商標であることを示す記号である。このマークは「Registered Trademark」の略で、アメリカやイギリスなど多くの国で一般的に使用されているマークである。米国の連邦商標法では、た

と他者に商標を侵害されたとしても、このマークが付されていない商標は、登録商標であっても損害賠償を請求することができない。しかし、日本の商標法では、登録商標にRマークを付すことが推奨されているが、義務ではない。したがって、日本ではRマークの有無にかかわらず、商標権侵害者に対しては、損害賠償請求が可能である。

TMマークは「Trademark」の略称で、Rマーク「Registered Trademark」から「Registered」を除いた記号である。つまり、ある製品が単に商標を持っていることを示すものであり、このマークがあるからといって必ずしも商標登録されているわけではない。したがって、将来的に商標の登録を申請するつもりであることを示すために使用することもできるし、単にビジネスで使用していることを示すために使用することもできる。

SMマークは、「サービスマーク」の略称である。TMマークが有形の商品について使用されるのに対し、SMマークは、レストラン、ホテル、交通サービスなどの無形のサービスについて使用される。TMマークと同様に、SMマークは商標登録されていることを示すものではない。

Cマーク(©)は、それが付けられた企業や人が「著作権」を持っていることを意味し、「著作権表示」とも呼ばれる。「C」は「copyright」の頭文字を表しているのである。商標とは異なり、著作権はなんらかの手続きによって発生するのではなく、著作物の創作と同時に発生する。世界知的所有権機関(WIPO)によると、著作権は「創作者が文学・芸術作品に対して持つ権利である。著作権の対象となる作品は本、音楽、絵画、彫刻、映画から、コンピュータープログラム、データベース、広告、地図、図面に及ぶ」とされる。例えば、子供が壁に描いた絵でも著作物となり得る。

PDO、PGIは、イギリスを含むEU諸国で導入されている登録制度である。農産物の原産地を示す名称を独占的に使用する権利を保護するものである。このように使用される製品名は「地理的表示」と呼ばれ、知的財産権の一つである。例えば、スパークリングワインは世界各地で生産されている

るが、フランスのシャンパーニュ地方で生産されたスパークリングワインのみが「シャンパン」を名乗ることができる。PDOとPGIの違いは、前者が地域との結びつきが強いに対し、後者は比較的緩やかな結びつきであることである。シャンパンはPDOの一例である。日本では、EUに続いて地理的表示保護制度を導入し、日本GIマークを制定している。日本で最も有名なGIのひとつが「夕張メロン」である。

商標と地理的表示には違いがある。特に前者は商標権者が他者の使用を妨げることができるのに対し、後者の侵害への対処は行政に任されている。

様々な種類のマークについて学ぶことで、知的財産権についてよりよく理解することができるだろう。

【ポスター原稿の訳】

知的財産権の世界

これらのマークは何か

® TM SM © 

これらのマークは全て  権利に関係する。

マークの種類

マーク	付すもの	説明
®	登録商標	®のついた商標は法律で保護されるが制度は国により異なる。
TM		<input type="text" value="44"/>
SM	<input type="text" value="45"/>	
©		

共通の特徴を持つマーク

- 
- 

【語句・表現】

• intellectual property 「知的財産」

〈第1段落〉

- mark 「～に印をつける」
- symbol 「記号」

• have something to do with 「～と関係がある」

• intangible 「無形の」

• trademark 「商標」

• refer to 「～を意味する」

• tangible 「有形の」

〈第2段落〉

• register 「～を登録する」

〈第3段落〉

• indicate 「～を示す」

• logo 「ロゴ」

• letter 「文字」

• stand for 「～を表す」

• federal 「連邦の」

• violate 「～を侵害する」

• claim damage 「損害賠償を請求する」

• bear 「～をもつ」

〈第4段落〉

• minus 「～を引いた」

• presence 「存在」

〈第5段落〉

• shorten 「～を短くする」

• whereas 「～である一方」

〈第6段落〉

• copyright 「著作権」

• procedure 「手続き」

• literary 「文学の」

• artistic 「芸術の」

• cover 「～を対象とする」

• range from A to B 「AからBにわたる」

• sculpture 「彫刻」

• technical drawing 「図面」

〈第7段落〉

• agricultural 「農業の」

• exclusive 「独占的な」

• geographical indication 「地理的表示」

• tie 「結びつき」

〈第8段落〉

• notably 「とりわけ」

• up to 「～次第」

リーディング・第4回

解答と解説

問題番号(配点)	設問	解答番号	正解	配点	自採	己点
第1問 (10)	A	1	<input type="text" value="1"/>	3	2	
		2	<input type="text" value="2"/>	2	2	
	B	1	<input type="text" value="3"/>	4	2	
		2	<input type="text" value="4"/>	2	2	
		3	<input type="text" value="5"/>	1	2	
自己採点小計						
第2問 (15)		1	<input type="text" value="6"/>	4	3	
		2	<input type="text" value="7"/>	3	3	
		3	<input type="text" value="8"/>	2	3	
		4	<input type="text" value="9"/>	3	3	
		5	<input type="text" value="10"/>	1	3	
自己採点小計						
第3問 (15)	A	1	<input type="text" value="11"/>	1	3	
		2	<input type="text" value="12"/>	3	3	
	B		<input type="text" value="13"/>	2		
		1	<input type="text" value="14"/>	4	3*1	
			<input type="text" value="15"/>	3		
			<input type="text" value="16"/>	1		
		2	<input type="text" value="17"/>	2	3	
3	<input type="text" value="18"/>	2	3			
自己採点小計						

(注)

\*1は、全部正解の場合のみ点を与える。

\*2は、解答の順序は問わない。

問題番号(配点)	設問	解答番号	正解	配点	自採	己点	
第4問 (15)		1	<input type="text" value="19"/>	4	3		
		2	<input type="text" value="20"/>	2	3		
		3	<input type="text" value="21"/>	3	3		
		4	<input type="text" value="22"/>	2	3		
		5	<input type="text" value="23"/>	4	3		
自己採点小計							
第5問 (15)	1		<input type="text" value="24"/>	3	2		
			<input type="text" value="25"/>	1,5*2	2		
	2		<input type="text" value="26"/>		2		
			<input type="text" value="27"/>	3			
			<input type="text" value="28"/>	4	3*1		
	3		<input type="text" value="29"/>	2			
			<input type="text" value="30"/>	1			
	4	<input type="text" value="31"/>	4	3			
	5	<input type="text" value="32"/>	4	3			
	自己採点小計						
第6問 (30)	A	1	<input type="text" value="33"/>	1	3		
		2	<input type="text" value="34"/>	4	3		
		3	<input type="text" value="35"/>	2	3		
		4	<input type="text" value="36"/>	4	3		
			<input type="text" value="37"/>	2			
	B	5	<input type="text" value="38"/>	1	3*1		
			<input type="text" value="39"/>	5			
			<input type="text" value="40"/>	4			
		1		<input type="text" value="41"/>	1	3	
				<input type="text" value="42"/>	2	3	
		2		<input type="text" value="43"/>	2	3	
				<input type="text" value="44"/>	2,4*2	3	
				<input type="text" value="45"/>		3	
		自己採点小計					

自己採点合計

